



議会だより

2014.11
vol.44

ふじかわぐちこ



今年も豊作！
河口小の稲刈り

- こういうことを決めました 2P
- 議長就任あいさつ 6P
- 議会改革 7P
- 委員会構成 8P
- 決算特別委員会 9P
- 一般質問 13P
- 窓・編集後記 18P

会計決算を審議



寺川砂防工事

災害対策に焦点

平成26年第3回富士河口湖町議会定例会が9月10日に開会し会期を17日間と決めて26日に閉会しました。

本定例会に提出されました議案は、報告1件、条例の制定3件、財産の取得1件、補正予算16件、同意案件4件、請願2件、決算認定33件を審議し、すべて原案のとおり可決、承認されました。

平成25年度一般会計及び32の特別会計の決算認定について、議会選出の監査委員を除く17名の議員で構成された決算特別委員会を設置し、9月12日から24日まで審議しました。

定例会において、渡邊凱保町長より主な点について以下の概要説明がありました。

○防災災害対策として町内に土砂災害警戒区域251か所を抱えていますので、これまで以上に警戒し安全対策の強化を図るとともに災害防止に対応するため、少しでも危険性があると判断した場合は、迅速かつ積極的に避難を促す情報や避難所を確保していきます。

○大石地区では山梨県事業として急傾斜地崩壊対策工事を平成27年度に予定、また河口地区は寺川上流に砂防ダム改築工事を行っています。

○災害時には、CATVで防災無線の内容が音声とテロップで放送されるよう試験放送しています。

○FMコミュニティ放送局を誘致して防災情報伝達を行っていきます。

○福祉ゾーン整備事業として、居宅介護施設と社会福祉協議会事務所建設工事は平成27年3月末に竣工予定、船津福祉センター改築及び芙蓉の湯改修工事は平成27年1月末に竣工を予定しています。

○観光まちづくり推進対策として観光立町推進後期基本計画を策定し、観光推進組織に求められる事業と体制のあり方について検討し、具現化していきます。

○教育面では、時代に対応した環境整備として船津小学校に40台のタブレット端末を配備し、ITC(情報通信技術)による学習の向上を図ります。

○富士山世界文化遺産保全への取り組みは、山麓から山頂までの富士山全体の神聖さや美しさが十分保全されていないなどの指摘があることから、平成28年2月1日までに保全報告書を提出します。

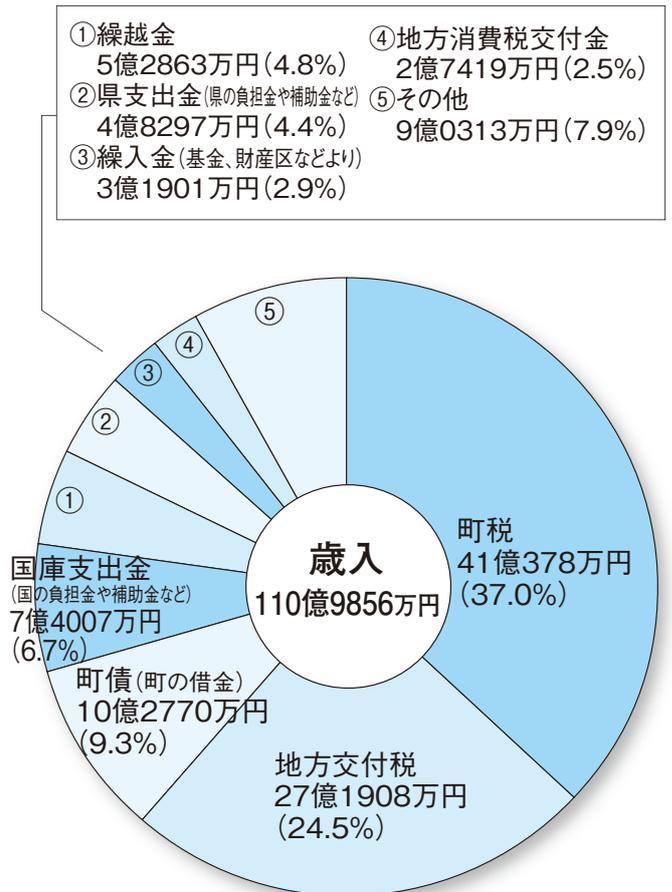
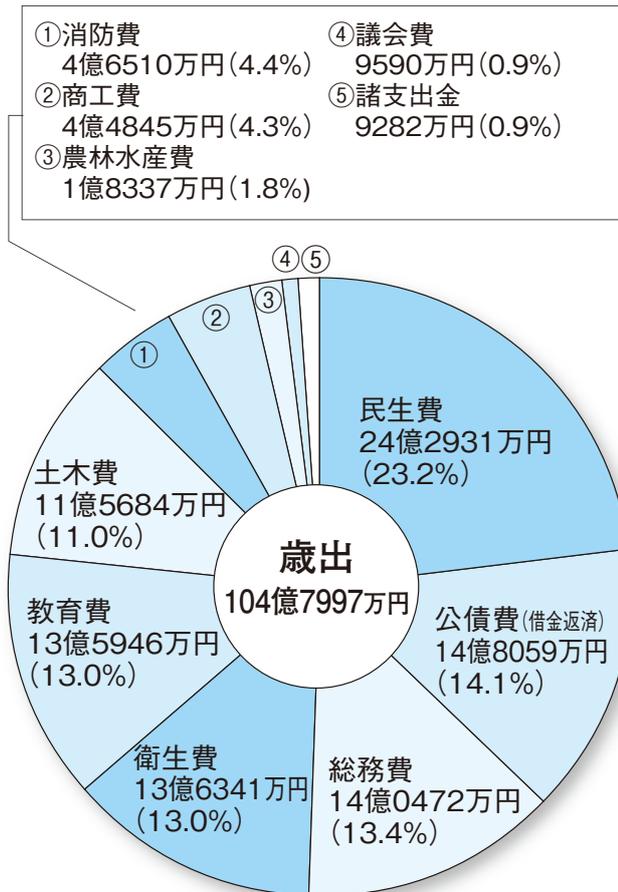
一般質問は5人の議員が登壇し、防災、福祉、施設管理など18項目について質問しました。

こういうことを
決めました!

●平成26年 第3回富士河口湖町議会

平成25年度一般

●平成25年度 一般会計決算の内訳●



●報告(1件)

▼平成25年度決算に基づく財政健全化判断比率等の報告

富士河口湖町	平成25年度	平成24年度	比較	要因
実質公債費比率	12.1%	12.5%	△0.4%	基準財政需要額への臨時財政対策債などの公債費の算入による。
将来負担比率	77.3%	92.3%	△15.0%	組合等負担見込み額が増加、公営企業への繰入と債務負担行為が減少し、財政調整基金への積立による。

※実質公債費比率とは、公債費(借返済費用)を含む返済金合計がどれだけ財政に負担をかけているかを表す指標です。

※将来負担比率とは、自治体が将来支払う可能性がある負担合計が一般会計に占める比率です。

● 条例の制定(3件)

▼富士河口湖町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

特定教育・保育施設と位置づけられた保育所、幼稚園、認定こども園を施設型給付とし、小規模保育を可能にした地域型保育事業として創った制度で、運営基準を定めています。

▼富士河口湖町家庭的保育事業等の整備及び運営に関する基準を定める条例

待機児童対策のため、20人以下の小規模や家庭で行う保育、事業所で行う保育について、民間活用を図って民間の施設等で運営する場合の基準を定めたものです。

▼富士河口湖町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

放課後児童クラブの対象児童の拡大や新たに国によりガイドラインが示されたことにより、基準を明確にするものです。



● 請願(2件)

▼30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願

請願人 南都留地区PTA協議会長

渡邊徹外3名

紹介議員 駒谷隆利 井出總一

内容 少人数学級を推進すること。教育の機会均等と水準の維持向上をは

かるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に還元すること。教育条件の格差解消をはかること。

審議結果 全員賛成で採択

▼手話言語法(仮称)の早期制定を求める請願

請願人 富士河口湖町聴覚障害者協会長

小佐野松雄

紹介議員 駒谷隆利 井出總一 渡辺武則

内容 手話が音声言語と対等な言語であることを国民に広め、聞こえない

子どもが手話を身につけ、学び、自由に手話が使え、手話を言語として普及、研究することができる環境整備を目的にした手話言語法(仮称)を制定すること。

審議結果 全員賛成で採択

● 同意案件(4件)

▼監査委員選任の同意

井出 總一氏(船津)

▼船津財産区管理委員選任の同意

井出 正広氏(船津)

井出 總一氏(船津)

▼大石財産区管理委員選任の同意

鎌倉 和豊氏(大石)

▼河口湖治水委員会委員選任の同意

渡辺 美雄氏(小立)

● 財産の取得

取得物件 富士河口湖町小立字梶平6746

番地外17筆

地目 山林、原野

面積 3万6967㎡

金額 7200万円

売渡人 神奈川県南足柄郡

内山2505

株式会社ヨシムタ



●補正予算(16件)

▼平成26年度富士河口湖町一般会計補正予算(第6号)

- ・ 財政調整基金積立金……………1億円
- ・ 減債基金積立金……………5,200万円
- ・ 居宅介護施設備品購入費…2,500万円
- ・ 除雪機購入費……………160万円
- ・ 道路新設改良工事……………8,740万円
- ・ 勝山公民館建設用地購入費…4,098万円
- ・ 予防接種事業……………2,500万円

▼平成26年度富士河口湖町一般会計補正予算(第7号)

- ・ 臨時福祉給付金給付費 1,000万円

■第3回臨時会

平成26年第3回臨時会が7月2日に開会し、条例の一部改正1件、建設工事請負契約1件を審議し、原案通り可決して同日閉会しました。

▼富士河口湖町ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部改正

▼富士河口湖町船津福祉センター改築及び町営芙蓉の湯改修工事請負契約締結について

- 契約の方法 一般競争入札
- 契約金額 9,612万円
- 契約の相手 株式会社 加取

■第4回臨時会

平成26年第4回臨時会が7月14日に開会し、特別会計及び一般会計の補正予算2件を審議し、原案通り可決して同日閉会しました。

▼平成26年度小立財産区特別会計補正予算(第2号)

- 用地取得費 7,200万円

▼平成26年度富士河口湖町一般会計補正予算(第4号)

- 法人町民税及び住民税の還付金 350万円
- 福祉ゾーン測量設計委託 98万円

■第5回臨時会

平成26年第5回臨時会が7月28日に開会し、一般会計補正予算1件を審議し、原案通り可決して同日閉会しました。

▼平成26年度富士河口湖町一般会計補正予算(第5号)

- 西浜小学校軒先改修工事及び設計委託 767万円
- 大石小学校裏庭陥没改修工事 145万円

■第6回臨時会

平成26年第6回臨時会が8月19日に開会し、建設工事請負契約1件を審議し、原案通り可決して同日閉会しました。

▼富士河口湖町居宅介護施設工事請負契約締結について

- 契約の方法 一般競争入札
- 契約金額 2億8,836万円
- 契約の相手 コバヤシ工業・塩沢建設富士河口湖町居宅介護施設建設工事共同企業体

平成26年第3回議会定例会、本会議において議長選挙が行われ、第13代議長に渡辺元春議員が当選し、副議長に流石恭史議員が就任しました。

議長

渡辺 元春 氏



副議長

流石 恭史 氏



◆議長就任あいさつ

富士河口湖町議会 議長 渡辺 元春

議長就任にあたり一言ごあいさつを申し上げます。

平成26年第3回富士河口湖町議会定例会におきまして、議員の皆様のご推挙をいただき、議長に就任させていただくことになりました。

身の余る光栄であり、感謝申し上げますとともに、その任務と責任の重大さをひしひしと感じているところでございます。

もとより浅学非才で未熟な私ではありますが、中立、公正無私を旨とし、誠心誠意全力で、職務にあたる決意でございます。よろしくお願い申し上げます。

さて、平成26年度、一般会計当初予算は104億1000万円と大規模予算となっており、順次執行されつつありますが、合併から10年を迎え、今年度から交付税の減額が始まり、平成32年度には交付税優遇措置が終了し、年約9億円の減額が見込まれ、厳しい財政状況が予想されます。

「議会」は町民の立場に立ち、「執行機関の提案した具体的政策の最終決定と行政運営のチェック、監視する」責任ある機関であり、住民代表である、議員の皆様方の「民意」を反映したご意見をいただきながら、開かれた議会運営をしてまいり所存であります。

議会基本条例も昨年9月に制定され、議会改革に取り組んでいる最中であります。町民の身近な議会として、解かりやすい議会活動に努めてまいります。

町民の皆様方の一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

富士河口湖町議会改革

議会改革推進特別委員会



昭和町井戸端会議の視察

議会改革推進特別委員会は、2つの分科会に分けて、第1分科会は「住民との対話」、第2分科会は「議会を変える」とそれぞれのテーマについて検討しています。

第1分科会は、議会基本条例に「町民及び町民団体等との意見交換の場を設け、町民が議会活動に参加する機会を確保に努める。」との規定より、どのような方法で意見交換会の場を設けるかについて、研修会を開催するなど検討してきました。

このたび、富士河口湖町議会意見交換会実施要綱(案)を作成して9月24日の議会改革推進特別委員会に提案、一部修正して原案どおり承認を得ました。具体的には、意見交換会を実施するについて、1班6人単位で3班編成して年1回以上開催するものです。

第2分科会は、自由討議と夜間・休日議会について協議をしています。

今後、意見交換会開催に際しては、地域の皆様のご理解とご協力を得ながらすすめていきますので、よろしくお願います。

議会改革推進特別委員会

第2分科会

議会を変える

第1分科会

住民との対話



議会の委員会の構成が変わりました。

9月定例会で改選が行われ、委員会などの委員が新しくなりました。

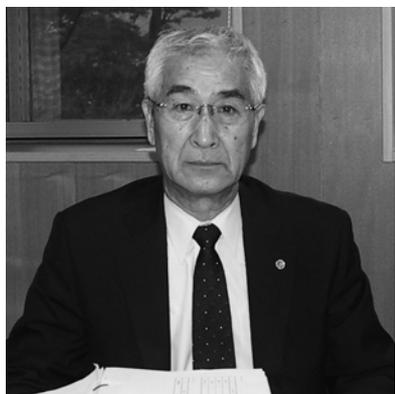
◎委員長 ○副委員長

議長	渡辺 元春		副議長 流石 恭史					
総務常任委員会委員	◎中野 貴民 梶原 武	○佐藤 安子 井出 總一	流石 恭史 渡辺 元春	山下 利夫 外川 正純	小佐野 快 三浦 康夫	堀内 昭登 高山 泰治		
文教社会常任委員会委員	◎三浦 康夫 小佐野 快	○山下 利夫 渡辺喜久男	渡辺 武則 梶原 武	渡辺 美雄 井出 總一	井出 正広 駒谷 隆利	佐藤 安子 倉沢 鶴義		
産経土木常任委員会委員	◎倉沢 鶴義 渡辺喜久男	○井出 正広 堀内 昭登	流石 恭史 渡辺 元春	渡辺 武則 外川 正純	渡辺 美雄 高山 泰治	中野 貴民 駒谷 隆利		
議会広報常任委員会委員	◎高山 泰治 佐藤 安子	○山下 利夫 外川 正純	流石 恭史 倉沢 鶴義	渡辺 武則	渡辺 美雄	中野 貴民		
議会運営委員会委員	◎堀内 昭登 駒谷 隆利	渡辺 美雄 倉沢 鶴義	中野 貴民	梶原 武	三浦 康夫	高山 泰治		
監査委員	井出 總一							
富士五湖広域行政事務組合議会議員	中野 貴民	渡辺喜久男	外川 正純	駒谷 隆利				
青木ヶ原衛生センター議会議員	中野 貴民 高山 泰治	井出 正広 駒谷 隆利	山下 利夫 倉沢 鶴義	佐藤 安子	小佐野 快	外川 正純		
農業委員会委員	小佐野 快							
船津財産区管理会委員	井出 正広	井出 總一						
河口湖治水委員会委員	渡辺 美雄 三浦 康夫	山下 利夫 高山 泰治	小佐野 快 駒谷 隆利	堀内 昭登 倉沢 鶴義	井出 總一	外川 正純		
消防委員会委員	流石 恭史		渡辺 武則	渡辺 美雄	山下 利夫			
都市計画審議会委員	渡辺 武則		井出 總一	外川 正純	三浦 康夫			
国民健康保険運営協議会委員	流石 恭史		小佐野 快	梶原 武	三浦 康夫	倉沢 鶴義		
介護保険運営協議会委員	渡辺 美雄		井出 正広	高山 泰治				
地下水保全審議会委員	小佐野 快		駒谷 隆利					
温泉事業運営審議会委員	佐藤 安子		井出 總一	外川 正純				
公共下水道審議会委員	中野 貴民		山下 利夫	佐藤 安子	小佐野 快	外川 正純		
山梨赤十字医療施設経営審議会委員	渡辺喜久男		堀内 昭登	梶原 武	外川 正純	倉沢 鶴義		

町の予算が

平成25年度決算

どう使われたかを審議



委員長
駒谷 隆利

副委員長
渡辺 武則

一般会計
歳入総額
歳出総額

110億9856万円
104億7997万円

決算特別委員会

特別会計

どのようにして国保税の滞納を減らすか

質問 一度滞納すると滞納額が増え続けるので早い段階での対応をどのように考えているのか。

住民課長 接触する機会を増やして意識付けを行い家庭の状況を見ながら、減免、猶予について説明していく。また申請による減免制度を周知していく。

質問 国保税の収納率が74%は、少し問題である。町の考えは。

住民課長 積極的に接触の機会を増やし、前年分を中心に徴収を強化していく。また各家庭の収入状況も把握する必要がある。

布設替えができない理由は

質問 動力費が増えた要因は何か。平成25年度より水道料金を30%程度値上げしたが、欠損金の中には減価償却が含まれているために、老朽管の更新ができないのか。

水道課長 動力費増は東京電力の電気代の値上げによる。減価償却費が積立できないために布設替えをすることができない。

上水道への国の補助は

質問 老朽管の更新や耐震化費用に対し、国の補助金はないのか。

水道課長 上水道の料金単価が安いために、基本的に補助対象になっていない。今後とも補助金の活用について研究する必要がある。



住民課の窓口

一般会計

財政執行状況を問う

質問 25年度分の町民カレンダーはどのくらい残っているのか。

政策財政課長 いやしの里根場、ビジターセンター、過日行われたインターハイで配布し50部程残っている。

質問 財政調整基金を順調に積み立てているが考え方は。

政策財政課長 主に突発的な災害の対応にと考えている。なお、今年度から交付税が減額されるので財政の予算に充当する考えもある。

企業誘致の取り組みは

質問 企業立地アドバイザー招聘事業の成果を問う。

政策財政課長 専門的な知見からパンフレット作成、ホームページ掲載、企業立地フェアやセミナーに職員を誘導していただいた。

質問 今年度の取り組みは。

政策財政課長 町長は企業誘致を重点施策と位置付け、3名体制で行っている。町内の企業を訪問し情報交換、また、企業立地センターに加入し情報入手する予定である。

防災対策を問う

質問 防災備蓄倉庫事業は。

総務課長 西湖、根場、大嵐、精進の4カ所。

質問 今年の防災訓練で小立のろ過装置が壊れていたのでもし点検をすべきではないか。

総務課長 防災訓練の前に点検はしているはず。作動点検ができていなかったかもしれない。

特別徴収を検討せよ

質問 滞納が多い町民税と固定資産税は年4期で1回の納税額が多い。特別徴収を検討できないのか。

税務課長 可能かどうか専門家と検討する。

町民の健康への施策を問う

質問 不妊治療費助成の実績は。

健康増進課長 20件の申請があった。

質問 健康のまちづくり推進リーダー養成講習の事業を具体的に。

健康増進課長 20人を登録。25年度は5回開催した。減塩や検診事業への参加をうながすためにはどうしたらいいか、地域への活動はどう進めるかなどを協議。

保育所の将来を問う

質問 管内保育所整備計画策定事業の内容は。

福祉推進課長 13名で構成し、5回程会合を持ち、長期的と早急な対応と二本立てで計画している。答申の大きなものは28年度くらいを目標に船津保育所本館の改修。勝山保育所の定員オーバーについては小立区画整理地区の人口増を見込んだ中での検討となっている。

公営住宅の老朽化対策は

質問 公営住宅長寿命化計画を策定したが公営住宅のなかで北八津団地は特に老朽化している。今後どのように対処していくか。

都市整備課長 町営住宅の長寿命化といって



勝山保育所

教育現場の状況は

質問 小学校のパソコン設置状況は。

学校教育課長 小・中学校の児童・生徒数は



町営住宅北八津団地

も、現実には北八津団地をどのようにするかという問題である。雇用促進住宅が平成30年に廃止されるので、町は購入も含めた中で、抜本的な町営住宅施策を検討している。

質問 木造住宅耐震補助金は。

都市整備課長 町の補助金を使っていたきたい。個人負担の費用も相当な金額になるので、踏み切れないという人も大勢いる。

合わせて約2000名になり、学校に配備しているパソコンは、612台ある。

質問 スクールソーシャルワーカー設置事業は。

学校教育課長 平成25年に県内でスクールソーシャルワーカーを設置した市町村は、富士河口湖町が最初だと聞く。平成25年度は年間通して1000時間をお願いした。本年度はその倍の2000時間を進めている。

農村災害対策整備事業の調査状況は

質問 農村災害対策整備事業調査の内容は。

農林課長 減災・防災事業になる大石と河口地区を対象に始めた。大石地区は馬場川西側の管理道路、改良区内の農道、水路などを整備した。河口地区は金山区水路と湖畔バイパス沿いにある水田の排水路整備等の要望があるので今後県と協議していく。

再生可能エネルギーの推進を

質問 農地を雑種地転用し、遊休農地等の再利用率のために1000㎡未満の太陽光発電を推進する考えは。

町長 世界遺産としての景観保全を一番重視する。1000㎡以上は届け出を義務付け

ているが、法的な縛りは無い。1000㎡未満でも協議をしたい。

遊休農地対策事業の主体的な考えは

質問 船津・小立地区の遊休農地対策事業の財源は財産区からの繰入金だが、主体者も財産区でこの事業が成り立っているのか。

農林課農政係長 両地区とも財産区の操出金で運営をしているが、農林課が中心になって事業は推進している。全地域の遊休農地を他産業からの参入等、多方面から利活用し、遊休農地、耕作放棄地を減らすように取り組んでいる。

地下水保全条例の改正に伴う地下水の実態調査状況

質問 地下水実態調査事業の内容と結果は。

水道課長 井戸掘削の問い合わせの多い河口湖南部、本栖、富士ヶ嶺の3地域を対象に調査した。人口が集中する河口湖南部は、地下水利用が過剰になっている。現状では本栖、富士ヶ嶺は少ないが、地下水開発が進んだ場合、河口湖南部と同じ状態になる可能性もある。今後地下水保全条例に基づき地下水保全を目的に施策を推進していく。

文化イベントの収支は

質問 河口湖ステラシアターのイベント・河口湖音楽祭・円形ホールイベント・第28回国民文化祭の収支を伺う。

文化振興係長 ステラシアターのイベント（残額1009万円）、河口湖音楽祭（残額0円）、円形ホールのイベント（残額183万円）、国民文化祭（残額0円）、全体で残額1192万円となる。

質問 文化庁からの補助金が毎年減っているが、その理由は。

文化振興係長 昨年度2014万円から712万円に減額、理由はチケットの販売、協賛金等の収入が予想以上に良かったため、その結果として減額となった。

質問 ステラシアターのイベント（残額1009万円）の使い方は。

文化振興係長 次年度にその残額分の予算を減額して計上している。

町長 今後もこの減額の方式でいく。

質問 ステラシアターのイベントで、アーテイストや事務所に支払ったお金はいくらか。

文化振興係長 875万円を売上げ、アーテイストや事務所側に799万円戻すので残りは76万円である。

質問 もう少し実行委員会への収入は増やせないか。

文化振興係長 3000人という限られたキ

ャパシテイーの中、またリスク回避等も考慮しつつ進める。

質問 一般質問においてステラシアターの収支で8000万円強のマイナスと言われるが、イベント及び音楽祭では1009万円の残額があるが。

文化振興係長 1009万円は河口湖ステラシアターイベント及び音楽祭実行委員会の町補助金2200万円を含む収支である。



富士山河口湖音楽祭

総括質疑

職員の意識改革は

質問 地方分権改革により多くの権限や事務が町に移譲されている。職員には高い知識や能力が求められ、意識改革や政策立案能力の育成などに、どう取り組んできたか。

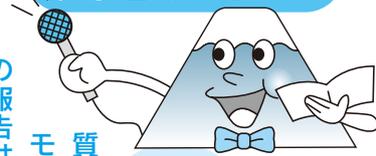
町長 意識改革という点では、年頭のあいさつなどの中で、職員に見解を述べている。自分の業務だけでなく全体的な視点で、町をいかに良くしていくかという視点で取り組むことを職員に要請してきた。

災害時の課題への対応を

質問 平成25年度は、ハード面、ソフト両面において防災対策の強化が図られた一方で、災害時の避難体制の問題など課題もあると思うが。

町長 ハード面では、地域の要望や必要性を精査して取り組んできた。ソフト面では、空振りや恐れのない対応をしてきた。今後心配しているのは、異常気象の中で、いつ何が起るかかわからない。災害時にどう対応していくか、被害を受ける危険がある地域の方々と、対話をしていきたい。

知りたい!
聞きたい!



1 富士山世界文化遺産 登録後の課題の対応

質問 世界文化遺産登録と同時にイコモスから指摘された勧告、要請事項への報告は、2016年2月1日までとになっているが、進捗状況は。

政策財政課長 保全状況報告書の作成に向け、国・県・市町村・構成資産所有者・関係団体・住民代表で構成する山梨県富士山世界文化遺産保存活用推進協議会等で課題に対する方針、手法を協議し、現在富士山の全体構想案が示され、その実現のためさまざまな取り組みが行われている。

当町では、湖の適正な利用、湖の静穏の環境実現、標識・案内板対策、電柱・電線の地中化、大規模太陽光発電設備設置の抑制対策等を行っている。



富士山

2 可燃ゴミの削減は

質問 可燃ゴミの処理量・費用の現状と、今後どのように削減していくのか。

環境課長 平成25年度可燃ゴミの処理量は1万1048トン、費用では2億5200万円になっている。

再質問 EMぼかしを使った生ゴミの堆肥化が有効であり、一層の普及啓発活動が必要と思われるが、今後の削減活動は。

環境課長 可燃ゴミの削減は、分別によるリサイクル活動への助成やごみの減量に取り組むグループへの助成を行いながら、ゴミ減量の意識向上を図っていく。

3 認知症患者の実態は

質問 町の認知症患者の実態と対策を伺う。

健康増進課長 平成26年4月1日の高齢者福祉基礎調査による認知症高齢者区分2以上の



一般質問者
渡辺 元春

4 小型家電リサイクル法の対応は

質問 携帯電話やパソコン、デジタルカメラ、ゲーム機、デジタルオーディオ等、使用済みの小型家電94品目対象に、船津リサイクルセンターで試験的に回収を始めたが、その実施状況を伺う。

環境課長 7月から船津リサイクルセンターへの持ち込みによる小型家電の回収を実施。実績は、7月、8月2カ月で約4トンを回収した。

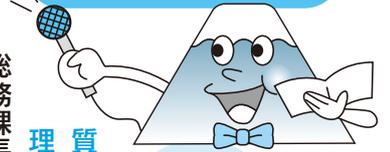
再質問 使用済みの携帯電話やパソコン等に残された個人情報への対応は。

環境課長 携帯電話やパソコン等に残された個人情報、持ち込みの際除去を依頼し、船津リサイクルセンター屋内で回収と保管をしている。

一般質問

知りたい!

聞きたい!



1 自然災害への対応は

質問 自然災害に対する地域の危機管理体制の状況と対応は。

総務課長 砂防堰堤、1級2級河川の改良、急傾斜地対策、また富士山火山防災など大規模整備は国や県が行い、準用河川や水路等の小規模改修は町が行う。ハード面の整備強化を図り、ソフト面では危険箇所のパトロール、自主防災組織の結成、再構築、防災士の育成、防災マップの作成支援、備蓄倉庫の充実、防災教育、講演会、災害時相互応援協定推進等を実施している。

災害時での的確な情報発信、住民が防災意識を高く持ち、自らの命を守ることが大切である。

質問 避難勧告、指示などはタイミングが難しいと思うが対応は。

町長 速やかな情報発信は大変難しいが、空振りを恐れず発信し、観光客も町民同様と考えて安心安全を確保しなければならないと考える。

2 指定管理者制度導入を図れ

質問 河口湖ステラシアターの指定管理者制度導入に向けた進捗状況と町の考えは。

町長 河口湖ステラシアターは、芸術文化に

一般質問



一般質問者
高山 泰治

関する町民の知識を深め、教養の向上を図り、以て町民文化の発展に寄与する目的で設置された施設である。指定管理者が行う業務、自主事業の実施内容、指定管理者が行う管理の基準、責任分担、指定期間、指定管理者の収入、申請資格、手続き、業務の実施に関する計画書の作成等詳細な募集要項案の策定を迅速に進めている。

将来の財政状況を考えると断行する時期にあると思う。最適で最善な指定管理者制度を導入することが町民文化の発展につながるものと確信している。

質問 毎年度、約8000万円余りのマイナスであるが、町の見解と改善策として早期の指定管理者制度への移行が望ましいと思うが、その時期は。

町長 財政基本計画を考えると、毎年約8000万円のマイナスという収支状況を鑑みると発展的な思考と創意工夫により質を堅持した施設として指定管理者制度への導入を図りたい。移行時期は年度中に募集要項を確定

3 入札の落札率は

し、来年度早期に公募を行い平成28年4月1日を目標に取り組んでいく。

質問 最近行われた入札は予定価格に対して、96・74%、98・81%での落札率による入札が行われた。予定価格情報が漏れていないか。町の対策、対応を伺う。

総務課長 職員の法令遵守意識の向上、不正防止についての外部研修に参加し、コンプライアンスの内部研修などを行い、公明公正を保持し、入札の適正化を推進している。

■河口湖ステラシアター収支状況（工事費を除く一般会計）

年度	収入	支出	収支
平成23年度	約280万円	約7,960万円	△約7,680万円
平成24年度	約430万円	約8,830万円	△約8,400万円
平成25年度	約440万円	約8,570万円	△約8,130万円

上記の金額は、河口湖ステラシアターの運営を主体とした人件費を含む。

1 防災備蓄倉庫と 仮設トイレの整備は

質問 8月31日に防災訓練が行われたが、備蓄倉庫を拝見したところ、大規模災害時に機能するの不安が残った部分がある。それは備蓄品の量である。

観光客が多い当町は、もう少し備蓄量を多く確保をする必要があるのではないかと、災害時のトイレの確保も重要な課題である。特に女性や高齢者、子ども達へのトイレの確保が必要である。

総務課長 町の観光協会と観光客の対応などに関する防災協定の協議も進めているが、備蓄倉庫の充実は欠かせないものである。

平成24年、25年度と2カ年にわたり町内7カ所の避難施設にマンホールトイレを併設整備し、先の防災訓練においても町民の皆様を設置方法の訓練を体験していただいた。仮設トイレや簡易トイレの配備を検討していく。



一般質問者
中野 貴民

2 ラッセル車の導入を

質問 本年2月に発生した豪雪では、多くの町民の方々に多大なご迷惑をおかけした。陸の孤島化した当町でも物流が止まり、日常生活が麻痺したことは忘れてはいけぬ事実である。地球規模の気象の変化が危惧されているが今後の対応は。

都市整備課長 今年度は特に2月の大雪の検証を踏まえ、機材並びに人員の配置等も含め、効果的な除雪が実施できるよう協議し実施していきたい。



雪かき

3 高齢者のひとり暮らしの 対応は

質問 当町の高齢者世帯数は昭和60年には137名だったが、平成22年には562名に急増している。元気な高齢者が多いことは当町の大きな財産である。高齢者の社会進出により、地域の活性化も期待できる。しかしながら、ひとり暮らしなどの高齢者世帯では生活の不便もあると思いが今後の対応は。

福祉推進課長 介護保険事業の地域支援事業の中で、緊急通報システム事業を開始する予定である。

4 圏央道開通に伴う誘客

質問 本年6月28日に圏央道の高尾山から相模原愛川区間が供用開始となった。当町を訪れる観光客のターゲットもこれまで以上に範囲が広がったと思う。これまで時間がかかっていた、横浜方面や神奈川県相模原地区からの誘客への取り組みはどうか。

観光課長 去る7月30日に圏央道の利用者を想定し、海老名サービスエリアのイベントスペースで、町のマスコットキャラクターふじびよんと一緒に、民間の皆様と合同キャンペーンを実施してきた。また、山梨県観光推進機構や富士五湖観光連盟の企画するキャンペーンにも積極的に参加し、誘客に努めていきたい。

一般質問

知りたい!

聞きたい!



Q1 透明で公正な 入札制度に

質問 入札制度について次の3点を提案する。①税金の使い方がより町民に明らかになるように、現在公表されていない250万円以下の工事などの入札情報の公表を。

②町内業者がより多く町の仕事を受注できるように、工事の入札参加者は物品や業務委託などの入札への参加を原則できないルールを。③入札は、価格の一番安い業者が工事を受注する方式が基本だが、工事の質の向上、業者育成のために、総合評価落札方式(実績や品質、地域の貢献度などを総合的に評価する入札方法)を一部の入札に導入を。

総務課長 ①他市町村の状況を調査し、250万円以下の工事の入札結果も公表していく。②違う分野の受注が一業者に偏るケースは少なく、ご質問のルールづくりは現在のところは考えていない。③工事の出来ばえなどの点数化を進め、導入を図っていく。

Q2 草刈りへの支援、対応を

質問 草刈りについて次の3点の検討を。①公園などの公有地の草刈りは、できるだけ都市整備課などが一括して状況把握、管理を。

②上九一色地区などは広大な地域であり、地元だけでは草刈りが大変な状況、町として支

一般質問



一般質問者
山下 利夫

援を。③道路に草がはみ出して通行に危険な場所があるので、対応を。

都市整備課長 ①草刈りは、担当課や各施設、各地区で管理している。今後は、それらの管理体制を把握し、今の体制が発展していくように各担当課が一致して取り組んでいく。②広大で困難であることは理解しているが、重ねてご協力をお願いしたい。③通行に



草が道路に伸びて通行の妨げになっている場所

支障がある場合は土地所有者に通知し、お願いをしている。土地所有者が実施できないと判断され、許可が得られたならば町が実施する場合もある。

Q3 「要支援1・2」のサービスの 市町村移管には懸念がある

質問 介護認定「要支援1・2」の方の通所介護と訪問介護が、市町村事業に移管される。専門的サービスが保障されるのか、また、新たに導入される「多様なサービス」の担い手として国が示す、区・自治会や民生委員は、過重負担となっている場合がある、などの懸念があるが。

健康増進課長 身体的介護が必要な方には、介護事業所による専門的サービスを保障していく。「多様なサービス」には民間企業のご協力も得ていく。

Q4 埋め立てや投棄への チェック体制強化を

質問 町内に外部から、廃棄物などが持ち込まれた可能性がある場合、また、埋め立てが行われた場合などのチェック体制の強化を。

環境課長 埋め立てや投棄の通報を受けた場合、速やかに現地確認を行い、県と連絡を取りながら対応している。

1 土砂災害の対応は

質問 8月20日未明、広島市で甚大な土砂災害が発生した。地球温暖化の影響で短時間に局所的な豪雨が増えている、いっどこで災害が発生するか予測が難しい。土砂災害危険地域への周知など当町の取り組みを伺う。

総務課長 町内には土砂災害警戒区域251ヶ所指定されている。今回の土砂災害で感じたことは行政として避難勧告や避難指示の意思決定を的確に行い、それをすみやかに情報発信すること。情報発信は防災無線、防災ラジオ、今後はCATVでテレビ表示、さらにコミュニティFM開設など。危険地域への住民には意見交換会を実施する。

2 ひきこもり支援の取り組みは

質問 社会問題化しているひきこもりは実態がつかみにくいと言われているが、全国で70万人とも162万人とも推計されている。山梨県でひきこもりをテーマに県立図書館で講演会が開催されたが、予想をはるかに超えて100人もの聴衆があつたと報道されていた。今やひきこもりは家族だけに解決させるのではなく、社会問題として地域での支えが必要だといわれているが当町の取り組みを伺う。

福祉推進課長 当町の実態は全体的な把握はできていないが、ある程度は想定している。

今までの対応は、家族から相談があつた時に職員が訪問し医師への受診につなげたり、ジョブカフェを紹介している。今後は相談体制を整え民生児童委員や区長、自治会長などと連携して積極的に対応したい。

町長 町民が身体と心の健康を保ちながら生き生きと生活していただくことが私の願い。27年度よりひきこもりだけではなく多様な福祉対応のために社会福祉士、精神保険福祉士を配属する予定。

3 公衆トイレの維持管理は

質問 今年の6月に友人から我町の公衆トイレが汚れていて世界文化遺産の町なのにがっかりしたと連絡があつた。たつた一度でも不



一般質問者
佐藤 安子

一般質問

愉快的な思いをされることはイメージダウンである。維持管理の状況と公衆トイレ整備事業を伺う。

観光課長 本年度から湖畔トイレ等18カ所の公衆トイレの維持管理は観光課が実施することになった。原則1日2回の清掃を委託しているが清掃チェックリスト掲示など委託先と協議したい。整備事業は、和式から洋式への改修や老朽化した施設の整備を行う。



お花が生けられた公衆トイレ

子ども達とのふれあい



南都留野球協会
副審判部長
赤池 英治
(小立)

午後5時すぎ、(火・木)小学校の校庭では、小立少年野球の子ども達が大きな声を出し練習を頑張っています。

私は、子どもが野球をやっていた影響もあり、なぜか野球経験がないにもかかわらず、現在山梨県野球連盟に所属し、毎週(土・日)審判員として県内を飛び廻っています。

現在、少子化に伴い、各スポーツ少年団は部員不足に悩まされているのが現状です。また子どもはやりたいが親がいろいろ大変だからやらせたくないという声も数多く聞かれます。子ども達は、毎回のように監督・コーチに怒られ、時に涙を流しながらも、ルールを覚え、試合に勝つことを目標にして日々一生懸命練習に励んでいます。そして、一番感心するのが、必ず礼儀正しく挨拶してくれることです。大人も子ども達に教えられることがたくさんあるように思います。

私自身の健康のためにも、スポー



新入部員を募集しています。

ッを楽しみ、汗を流しています。その後のピールの味は一味違いますよ。これからの富士河口湖町を担っていく子ども達のためにも、もう少し我々大人の頑張りも必要ではないでしょうか。最後にありますが、富士河口湖町の各スポーツ少年団のこれから活躍に期待するとともに、私自身微力ながら頑張りたいと思っております。

議会見聞録

聴覚障害者として町議会を傍聴したのは今回で2度目です。「手話言語法(仮称)の早期制定を求める意見書の提出」請願の採決日、手話通訳付きで傍聴し、無事採択された時は、涙がでるほど嬉しく感激しました。傍聴席にいたのは、聴覚障害者、手話サークル会員、手話通訳士の12名。今後も町の「手話言語条例制定」をめざして頑張っていきます。

2年前、町議会を初傍聴し、「手話通訳士の積極的導入の件」が採択され、役場に手話通訳士が設置され、大変感

謝しています。私は、CATVによる生放送や再放送がある事は知っていますが、全てが音声のため、内容を知ることが出来ません。情報から遅れます。以前、CATVによる議会放送の再放送に手話通訳士の映像(ワイプ)の導入を要望しました。その際、「予算も含めてすぐの実施は難しいが今後実施に向けて取り組みたい。」という返答を記憶しています。すでに2年半が過ぎました。役場、議員、町民の皆さんご理解いただき導入をお願い申し上げます。

富士河口湖町聴覚障害者協会会長 小佐野 松雄

議会を傍聴しませんか 次の定例会は12月です

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ傍聴してください。入口には注意事項が掲示されています。

編集後記

9月定例会議会閉会の翌日9月27日、御嶽山が噴火しました。1991年に43人が犠牲となった雲仙・普賢岳噴火以来の大惨事となりました。いまだに行方不明の方々の早期発見と、犠牲になられたみなさまのご冥福をお祈りいたします。

今回の議会だよりは、9月定例会で審議された25年度決算(町の予算がどう使われたか?)を中心に条例、補正予算、一般質問、新たな委員会構成の他、昨年9月制定された「富士河口湖町議会基本条例」に基づく、富士河口湖町議会意見交換会実施要項、がおもな内容です。町民のみならずとの対話を受け、議員同士の自由討論へと広げたいものです。

議会だよりが届く頃には、富士山も真っ白に冠雪していることでしょうか。また寒い冬がやってきます。お元気で！(渡辺武則)

●議会広報常任委員会

委員長 高山 泰治

副委員長 山下 利夫

委員 流石 恭史

渡辺 武則

渡辺 美雄

中野 貴民

佐藤 安子

外川 正純

倉沢 鶴義